

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富士宮校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令上十分なスペースを確保し、3つの部屋を状況により使い分けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令上必要となる人数より1名以上多く配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	段差がありバリアフリー化されていません。必要に応じてマンパワーにて対応させていただきたいと思えます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援に対しての報告を毎日行い、全職員が目標に対して現在の支援がどうであるか確認、提案できるようになっています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを実施し、その結果を共有し改善について話し合っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページを開設し評価及び改善内容を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価を受けていないため、検討し、受け次第周知させていただきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に内部研修、他事業所との合同研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に保護者様、利用者様と面談を行い、ニーズの把握に努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準化されたアセスメントとしてSDQを利用しています。適応行動に準拠した標準化アセスメントは取れていません。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			主担当の他複数人でチームを組み、プログラム検討を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			こどもの状態に合わせて変化させています。今後研修等得た知識を基に、より多くのアイデアを取り入れていきたいと思えます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			曜日により順番や取り組むものを設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		基本個別活動として支援計画を立てていますが、アセスメントを基に必要なに応じて

					小集団としての活動を取り入れる場合があります。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日の全体ミーティングの他、チームごとに確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日報告会を行い、記録に残すことで情報共有をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録を全員が確認できるようにしています。それを基に OJT を実施しています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に面談、アセスメントを行い、計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		アセスメント・サービス利用計画書を基に複数領域の計画を立て支援を行っています。地域支援に関して弱さがあるため、今後検討していきたいと思います。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		児童発達支援管理責任者の他、必要に応じて支援員も参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		ケース会議や学校見学、学校との調整会議を行い、情報共有に務めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在該当する利用者がおられません。受け入れる場合には主治医の意見を尊重しながら、連携をとっていききたいと思います。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者様や相談支援事業所、相談員への聞き取りなどを基に情報共有しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		相談支援事業所を中心として、情報交換会の会議や書面・口頭にて情報提供を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センター等への訪問、見学を行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今年はコロナにより中止していますが、イベント等を通じ、地域の方が参加できる機会を作りたいと思います。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		児童発達支援管理責任者の他、必要に応じて指導員も参加しています。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回の支援後に相談の時間を設けています。別途相談受付票を用意し、必要に応じて別途時間を取っています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		毎回の支援中・支援後に相談を受け、時間を設けてアドバイスを行っています。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に書面とともに説明をしています。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回の支援後に相談の時間を設けています。別途相談受付票を用意し、必要に応じて別途時間を取っています。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者向けのイベント、講義の案内を掲示しています。今年はコロナにより当事業所にて開催していないため、今後検討していきたいと思います。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情体制を整えるとともに、お問い合わせ窓口を設置しています。頂いた苦情に対しては、社内フォローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報は随時持ち帰れるようにしており、イベントは掲示、ブログ、Lineにて周知しています。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報を書かれた書類はすべて鍵付きのロッカーにて保管しています。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的な情報を活用するとともに、Line等のSNSを利用しています。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナにより中止とさせていただいています。イベントとしてどなたでも参加できる行事を頃合いを見ながら行っていききたいと思います。
	非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	
㉛		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1回の避難訓練を行っています。
㉜		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また、契約時に保護者様への説明を行っています。
㉝		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また、契約時に保護者様への説明を行っています。

	十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				
⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			すべてのご利用者様についてアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意しています。
⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が起こった際には、マニュアルに沿って、報告書を作成し職員で共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富士宮校

保護者等数（児童数）：68（74）回収数：62 割合：91%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	95	5		のびのび活動で来ていると思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	98	2		担当の先生はもちろんですが、別の先生にも支援に入ってもらい、関わってもらえありがたいです。 →継続し、担当以外でも関わる機会を増やしていきたいと思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	60	40		→現在段差があるため、必要に応じ、マンパワーや簡易的なスロープを付け対応していきたいと思います。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ^I が作成されているか	98	2		こちらの希望・要望を組み込んでもらいながら子どもにあった計画を立ててもらえています。 →これからも今の状態を把握し、ニーズの分析に努めていきたいと思います。
	⑤	活動プログラム ^{II} が固定化しないよう工夫されているか	95	5		こどものことをよく見てもらえ、成長に合わせて常に工夫してもらっています。 →成長の他、その時の様子を踏まえ、臨機応変に対応していきたいと思います。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	36	48	16	→コロナにより開催していないため、今後検討していきたいと思います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100			面談などで説明を受けています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	98	2		頑張っている所をたくさん見つけてもらい、報告してもらい励みになります。 →これからも強みを活かした支援を心掛けたいと思います。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94	6		定期的に面談を行ってもらい、たくさん助言を頂いています。 →十分に時間が取れないことでもございましたので、事前受付票を活用し、十分時間が取れるよう配慮していきたいと思います。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	55	24	→コロナにより開催していないため、今後検討していきたいと思います。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	79	21		いつでも相談しやすい状況と雰囲気です。 助かります。 苦情がないのでわからない。 →苦情があっても伝えやすい雰囲気を作っていきたいと思います。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100			保護者の些細な問い合わせにも対応していただいています。 親子ともども苦手な所をわかりやすく教えていただき感謝しています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	52	46	2	知らない。 →掲示していることのお知らせや視覚的にわかりやすくなるよう、工夫していきたいと思います。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	98	2		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	79	21		あるかもしれないが知らない。 →再度周知させていただくとともに、視覚的にわかりやすくなるよう工夫していきたいと思います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	52	47	1	→SNS等を利用し、訓練の詳細が分かるよう検討していきたいと思います。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	89	10	1	ワクワクしている様子が伝わってきます。 とても楽しく過ごせています。 学習が嫌いなため、通所を嫌がるのが在ります。 →苦手なものに対して何かしらの楽しみややりがいを感じれるよう努めていきたいと思います。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	97	3		すぐに結果にはつながりませんが、毎回充実した時間を過ごせています。本人に楽しい、やる気になれる、興味が出るそんな気持ちが育っています。 誉められることがうれしく意欲的に取り組んでいます。 1対1で関わっていただき、助かっています。 →ありがとうございます。日数や時間などご希望に添えることができないこともあり申し訳ございませんでした。これからも満足いただけるよう、スタッフ一同精進していきたいと思います。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

